

様々な患者背景の倦怠感に対する 人參養栄湯の使用経験

ひろせクリニック (北海道) 廣瀬 和幸

倦怠感とは様々な原因により生じる症状だが、他に器質的な原因がなく、社会的なストレスから全身倦怠感としての症状を自覚する症例も増えている。また、近年ではCOVID-19罹患後症状（いわゆる後遺症）として受診するケースが増えている。今回、倦怠感を主訴とする患者を対象に気血双補剤である人參養栄湯を投与したところ、奏効した症例を経験したので報告する。

Keywords 人參養栄湯、COVID-19罹患後倦怠感、ストレス倦怠感

はじめに

倦怠感とは、身体や精神的に「だるい」「疲れた」「疲れやすい」と感じられる状態である。倦怠感とは感染症や癌、糖尿病などの代謝性疾患、うつ病など精神疾患などの一症状としてあらわれることがあり注意が必要であるが、睡眠不足や栄養不足、飲酒、喫煙など生活習慣の問題から生じることもある。近年、COVID-19罹患後症状として受診するケースが増えている。COVID-19罹患後症状とは、感染性は消失したにもかかわらず、ほかに原因が明らかではなく、罹患してすぐの時期から持続する症状、回復した後新たに出現する症状、症状が消失した後に再び生じる症状の全般を指しており、代表的な症状は疲労・倦怠感、咳嗽などとされている¹⁾。COVID-19罹患後症状は確立した治療法がないため、長期間症状に悩まされる患者も少なくない。また、疲労・倦怠感は年齢・性別に関わらず起こりうる症状であり、仕事の忙しさによって引き起こされることもある。倦怠感・疲労感は近年プレゼンティーズムの一つとしても問題視されており、労働者の生産性低下対策のために注視する症状である。

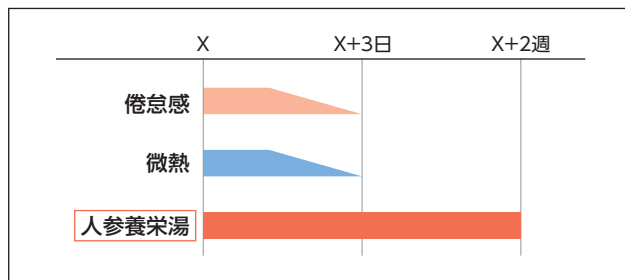
一方、人參養栄湯は疲労倦怠の効能又は効果を有しており、虚弱・やせ型な食欲不振や疲労倦怠感に使用されるものである²⁾。また気血双補剤であり、双方が低下し倦怠感としてあらわれる症状に対して有効であると考えられる。

今回、倦怠感を主訴とする患者への人參養栄湯の使用経験について報告する。

症例1 26歳 男性 BMI 29.4 (図1)

【主 訴】 倦怠感、咳嗽、痰、微熱**【既往歴・合併症】** 特記事項なし**【現病歴】** COVID-19感染症の診断後、咳嗽、痰、微熱、倦怠感が持続し、発症から1ヵ月後に当院を受診した。仕事には行けているが、帰宅後はぐったりしている。**【経 過】** 人參養栄湯の内服を開始した。内服3日後には微熱、倦怠感症状が消失し、2週間の内服終了後も症状の再燃なく終診となった。

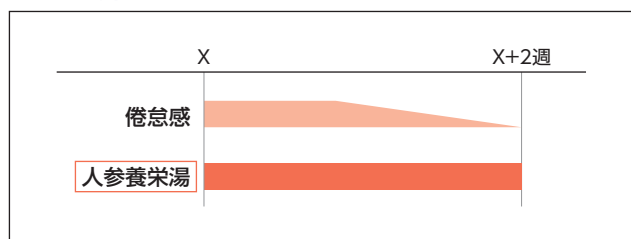
図1 症例1



症例2 25歳 女性 BMI 20.8 (図2)

【主 訴】 倦怠感、頭痛**【既往歴・合併症】** 特記事項なし**【現病歴】** 3日前から倦怠感、頭痛で朝起きるのがつらく当院を受診した。仕事が忙しくストレスを感じている。**【経 過】** 感染症や内分泌疾患を疑う所見はなく、人參養栄湯の内服を開始した。2週間内服したところから症状は改善し、2週間の内服終了後も症状の再燃なく終診となった。

図2 症例2



症例3 59歳 男性 BMI 24.6 (図3)

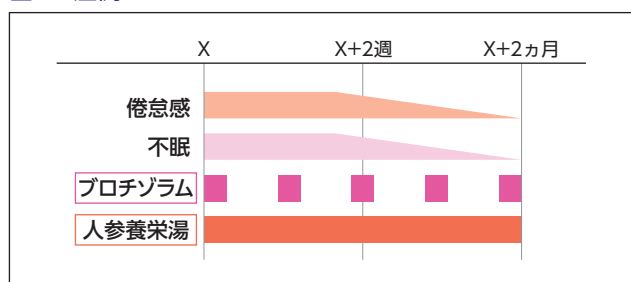
【主 訴】 倦怠感、不眠

【既往歴】 高血圧症、脂質異常症、腰椎椎間板ヘルニア

【現病歴】 2週間ほど前から眠りが浅く、朝疲れが取れないとして受診。仕事が忙しく疲れがたまっていると感じている。

【経 過】 人參養栄湯の内服を開始、不眠時にはプロチゾラム 0.25mg 頓服処方した。2週間ほど内服後に疲労感、不眠症状の改善を実感した。内服2ヵ月で症状は完全に改善し、内服終了とした。その後も症状の再燃なく、プロチゾラムの頓服も不要となった。

図3 症例3



前述の3症例を含む、8症例を表にまとめた。

全症例で副作用は確認されなかった。

表 症例背景

症例	年齢	性別	BMI	症状	原因	人參養栄湯の投与期間
1	26歳	M	29.4	倦怠感	COVID-19	2週間
2	25歳	F	20.8	倦怠感	ストレス	2週間
3	59歳	M	24.6	倦怠感	ストレス	2ヵ月
4	31歳	F	21	倦怠感 気分の落ち込み	COVID-19	1ヵ月
5	17歳	M	20.8*	倦怠感	COVID-19 生活習慣 (寝不足)	1ヵ月
6	91歳	F	—	倦怠感	COVID-19	2週間
7	39歳	F	23.8*	倦怠感	産後	2ヵ月
8	42歳	F	22.5	易疲労感 食欲不振 下痢	ストレス	2週間

* 症例5のBMIは電話での確認、症例7のBMIは再診時に確認

考 察

わが国のCOVID-19罹患後症状に関する研究によれば、COVID-19と診断され入院した患者のCOVID-19罹患後症状としての症状は呼吸困難、咳嗽、喀痰といった気道症状や、倦怠感などの全身症状が多く、罹患後1年後においても約3分の1の患者に何らかの症状が残存していた³⁾。COVID-19罹患後症状に対する確立した治療法はないが、全身倦怠感を主とするコロナ後遺症に対して人參養栄湯が有効であった報告はある^{4), 5)}。

当院では証を考慮せず、疲労倦怠感を主訴とする患者に対し人參養栄湯を処方した(表)。人參養栄湯を処方した患者には症例1のようにCOVID-19罹患後の患者が含まれ、症例2、3のように仕事の多忙やストレスを背景に持つ患者に対して有効だった症例もあった。一般的に人參養栄湯の適応と考えられる高齢者・やせ型・虚弱体質ではない若年者にも処方したが現代社会における生活上の疲れやストレスからくる症状に対しても有効性を示したと考えられる。

人參養栄湯は倦怠感に対し2週間以内に効果を実感している。まず2週間処方し効果判定を行い、症状消失まで継続している。一方、人參養栄湯が無効な例も経験し、それは器質的要因やコンプライアンス不良、生活習慣の乱れが背景にあるものであった。

人參養栄湯は漢方薬の中で「補剤」と呼ばれるカテゴリーになり同じカテゴリーに加味帰脾湯という漢方薬がある。加味帰脾湯は不眠症、精神不安、神経症などの効能又は効果をもち、COVID-19罹患後症状に対しても広く使用される⁶⁾。人參養栄湯との併用で、特に精神症状を伴う倦怠感に対しての効果を経験しているが身体だけでなく心の倦怠感に対しては加味帰脾湯を併用することで倦怠感や不眠に対しての意義はあると考えられる。

人參養栄湯は、やせ型・虚弱体質ではなくともコロナ後遺症やストレスに起因する全身倦怠感に対して有効な治療手段になる可能性が示唆された。

【参考文献】

- 厚生労働省: 新型コロナウイルス感染症の罹患後症状(いわゆる後遺症)に関するQ&A
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kouisyuu_qa.html
- 高山宏世: 漢方常用処方解説 改訂版 第3版(2019)
- 厚生労働省科学研究成果データベース: 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の長期合併症の実態把握と病態生理解明に向けた基盤研究 <https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/145956>
- 伊藤友康: COVID-19の後遺症における全身倦怠感に対して人參養栄湯が奏効した3例. phil漢方 85: 10-12, 2021
- 平畑光一: 漢方薬が奏効した新型コロナ後遺症の経験. phil漢方 85: 13-15, 2021
- 新見正則 ほか: フローチャートコロナ後遺症漢方薬. 新興医学出版社(2022)